

## 2009年度湘南藤沢学会「シンポジウム・研究ネットワークミーティング基金」

### 成果報告書

政策・メディア研究科 博士課程3年 田崎 創

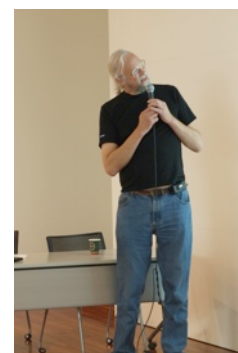
講演名： Network Seminar

2009/11/6, 2009/11/14

2009年11月8日より11月13日まで広島にて、IETF (Internet Engineering Task Force)の第76回会議が開催された。この機に来日される著名な研究者をSFCに招き講演をして頂くと共に、学生の研究発表を実施し、研究の方向性などの議論をする機会を作成すべく、本セミナーを開催する運びとなった。

セミナーはIETF会議の前後2日間(11/6と11/14)に分けて実施した。

11/6(金)には、Joe Touch 氏(米ISI/USC), Bob Hinden 氏(米Checkpoint社 Fellow), 湧川 隆次氏(トヨタITC USA), Charles E. Perkins (米WiChorus社 Technical Fellow)を招待し、講演を頂いた。現在のインターネット標準化に関するトピックや、将来のインターネットに関する提案に関する講義等、研究としての方向性をクリアにする上でも有意義な講演であった。また、政策・メディア研究科在席の博士課程学生2名による研究発表も実施した。発表の機会の経験だけでなく、質疑やコメント等でのdiscussionを通じ、一面的な技術の点だけでない議論が実施できた発表であった。



11/6講演者発表(左から、Joe Touch氏、Bob Hinden氏、湧川隆次氏、Charles E. Perkins氏)

IETF会議後の11/14(土)には、Lixia Zhang教授(米UCLA), Kevin Fall 氏(米UCB/Intel Research), Joerg Ott 氏(フィンランド ヘルシンキ工科大学)を招待し、講演を頂いた。講演は将来のインターネットに関する研究の紹介と、特に昨今注目されている Delay/Disrupted Tolerant Network (DTN)の研究に関するものであった。こういった設計・思想が今後のネットワーク研究において必要とされてい

るのか、またそのためのアプローチは、と言う深い内容のお話をして頂いた。またこの日も環境情報学部4年の波多野俊明君と、東京大学大学院情報理工学系研究科の落合秀也さんによるDTNに関する研究発表も実施した。DTN研究における第一人者のゲストを前に研究の紹介と、有益な意見を交換する事ができた発表であった。

11/14のプログラム最後には、東京大学江崎浩教授、慶応チョン・キルナム教授と3人のゲストスピーカーによるパネルディスカッションが実施された。New Network Architecture -- Future Internet, DTN と題したこのセッションでは、昨今盛んな現在のインターネット・ネットワークアーキテクチャを再設計するという視点を端に、問題点の整理、必要とされている技術、解決方法の例など幅広い議論が繰り広げられた。研究としての方向性を再確認する議論を多いに実施できたのは成果であった。

プログラム詳細は脚注<sup>1</sup>Webページを参照されたい。



11/14 講演者発表(左から、Kevin Fall氏、Jörg Ott氏、Lixia Zhang氏)

本セミナーを通じて、研究発表や講演を通じて、デザインや方式提案に関する研究に一番必要な議論が活発に実施できた事は成果であった。自ら会議や学会に参加し、こういった議論を実施する事も有益な研究活動につながるが、国際会議や学会が日本で実施されるタイミングで実施した本セミナー等は、更に機会を増やす事が可能であると考えられる。

## 謝辞

本セミナー (Network Seminar) は2009 年度湘南藤沢学会「シンポジウム・研究ネットワークミーティング基金」支援により行なわれた。

---

<sup>1</sup> <http://www.sfc.wide.ad.jp/seminar/2009-network-seminar/>